

1. 本園の基本理念、教育・保育方針、教育・保育目標

基本理念
○子ども主体の保育 ○みんなでみんなを見る保育
教育・保育方針
○あたたかい保育 ○のびのびと楽しい保育 ○一人ひとりを大切にする保育
教育・保育目標
○心身ともに豊かな子ども ○思いやりのある子ども ○意欲のある子ども
○自分で考えて行動する子ども

2. 本園の重点的に取り組む目標・計画

幼保連携型認定こども園教育・保育要領及び園の全体的な計画を踏まえて、教職員がその内容を確認しながら共通理解を図り、認定こども園全体の教育・保育を高めるとともに、教職員の資質向上に努める。
時代に即した保育（子どもを主体とした保育）に応える質の高い認定こども園を図る為に、カリキュラムや行事などを見直し、改革を進める。
保護者の利便性向上、職員の業務負担軽減を図るために一層の業務の見直し、ICTの活用を進める。

3. 評価項目と取り組み状況（職員による評価の平均値を掲載）

- 1 改善が必要 意識や行動の見直し・改善が必要。上司の指導を必要とする。
- 2 要努力 意識しようとしているが、実行できていないことが多い。
- 3 ほぼ出来ている 意識して実行している。時にできていないこともあるが、自ら気づき改めている。
- 4 常に出来ている 常に意識して実行している
- 5 模範レベル 果たすべき水準を上回る。他者の模範となるレベル。

	具体的確認項目	評価	取組状況・今後の取組等
保育目標・教育方針			
	子ども主体の保育を理解し、自分の言葉で説明することができるか。	3.1	主体性の保育（子どもにとってどうか）を考え、環境作りを意識し、保育内容を考え組み立てることができている。また、毎日のおたよりの配信で子どもの育ちや発達について保護者に伝えることができている。 園内部の保護者だけでなく外部に向けての発信に力を入れることがまだできていないのが課題。
	みんなでみんなをみる保育を理解し、園全体で人の動きを考 えることができるか。	3.4	クラスを超えて声を掛け合いながら保育することが定着している。また、他クラスの保育に入ること で、子どもの状態や育ちについて、職員間でよく話 すようになっている。
	保育の仕事に誇りをもち、一人ひとりの子どもに愛情を持ち 関わっているか。	3.8	一人ひとりの子どものプラスな面に目を向け、共有 しあう場面をよく見る。自分のクラス以外の子ども にもみんなが愛情をもって関わっていることを感じ られる。

教育課程・指導計画			
	子どもの発達段階に合わせた保育を組み立てているか。	3.3	個々の発達にあったものを提供できるよう、一つの活動に対していくつかのパターンを準備できている。また、一人ひとりの発達段階を意識して保育室の玩具を用意したり様々なあそびやあそび方を提供するように意識できている。
	保育の振り返りはクラス・学年間で日々行い、反省を活かし取り組めているか。	3.2	その都度、アイデアを出し合い、改善や発展させながら保育を実践できている。だが、まとまった時間を作ることが難しいのが現状。
環境整備			
	保育室以外の公共の場の清潔を保つために、自ら行動しているか。	3.3	気になる箇所が目に入ったとき、すぐに行動に移すことが難しいことがある。期間や時間を決めて環境を整えるよう考えていく。
	子どもに提供する教材や教具は安全や清潔に配慮されたものか。	3.6	破損があれば都度、処分したり入れ替えたりできている。玩具の消毒は毎日行い、布でできたものは定期的に洗っている。提供する際は安全な物か、清潔な物かを確認するようにしている。
	教材庫は次の人が使いやすいように整理整頓しているか。また、在庫が不足しているものについては次の人に迷惑が掛からないよう、発注しているか。	3.6	使ったものは元の場所に置き、在庫がなくなりそうな時は発注してもらうように伝えた。季節により不足しがちなものは早めに発注をかけることができている。また、気づいたことは伝え、感謝の気持ちを伝えることも意識できる職員が多い。 スペースがあると物を置きがちになるので、場所を有効に使えるようにすることが課題。
	子どもの目に入るところには、子どもの必要な物だけが置かれているか。	3	手が届く場所には子どもが触れていいものだけを置くように気をつけている。延長保育などで使用する部屋は棚の上が乱れやすい。3Sの意識を徹底していく。

保育・教育の充実			
	子どもが主体的に楽しめるような関わりや環境が用意されているか。	3.3	子どもたちの様子を見ながら保育室のあそびの環境を変えるなどした。玩具や教材は子どもたちが自分で見つけて使いやすいように配置できている。年齢に応じて子どもたちのあそびがより豊かになるよう、資料や写真など視覚的援助があればよりよかった。
	身体を動かす機会を十分に確保し、身体を動かす楽しさを味わえるようにしているか。	3.5	園庭や園外に出れない日は園内散歩を楽しんだり室内アスレチックで体を動かしている。天気の良い日は戸外に出て十分に体を動かすことができている。
	栽培活動など食育活動を推進しているか。	3.4	食事中に食材を伝えたり、年齢に応じたクッキングも経験している。実際に子どもたちが苗植えや水やりを経験することで、うまくいくことやいけないことを学ぶこともできた。同じ野菜でも味を変えたり、調理方法を変えたりし、子どもの意見を取り入れながら活動できている。
	配慮が必要な子どもに対して、職員間で共通理解を図り適切に対応しているか。	3.8	クラスの中で情報は共有できている。子どもが困っているときは、どんな活動の時から、どんな様子だったのか、どうすればよかったのかなどこまめに話し合うことができている。どのように援助するか話し合うことも多いが、上司として適切な助言ができているかは悩むことがある。
職員の資質・能力向上			
	職員の当たり前レベルを引き上げるために、年齢や経験は関係なく、提案やアドバイスが出来ているか。	2.8	自ら進んで…ということは全体的に少ないと捉えている。提案の仕方や伝え方に戸惑うこともあり、躊躇している様子もうかがえる。言いやすい、聞き入れやすい環境を作っていく必要がある。
	子どもの育ちと人権を第一に考え保育にあたっているか。	3.9	個々の育ちと人権を大切に保育に取り組んでいる。みんな同じ関りではなく、その子その子にあった対応を園全体で心がけることができている。
	自分のどのような言動も、園全体に影響を及ぼすものとして常に注意を払っているか。	3.7	子どもに対する言葉がけはもちろんのこと、保護者対応の言葉選びは慎重に行い、意図とは違う伝わり方をしていないかは気にかけている。
	自分の態度や表情が周りにどう影響しているかを考えることができ、業務を円滑に遂行できているか。	3.5	元気よく、明るくを意識している職員が多い。不平や不満は改善や提案という形で発言できている。

安全管理体制の設備			
	火事・地震・不審者対応など、園内で起こることを想定し、その場その時に責任をもって対応できるか。	3.5	いろいろな想定を考えて取り組んでいる。決まったこと以外にもいろいろなパターンで訓練を行うべきと感じている。
	感染予防の観点から、保育室内の消毒や換気、温度や湿度を徹底することができているか。	3.4	冬場の乾燥には特に気を使っている。また、加湿や換気などには気を付けた。一人ひとりの体調に配慮しながら快適に過ごせる環境づくりを心掛け、感染症に罹患した園児がいるときは保護者のお知らせしている。
	アレルギー児への適切な対応ができているか。	3.8	アレルギー食のトレーや個人の札を確認し、ランチ提供時には確認に確認を重ね、怠らないようにしている。また、保護者と情報を共有してアレルギーの度合いをしっかりと把握し、必要に応じて調理主任と保護者の面談を行っている。
	安全点検（園内、保育室、遊具、ヒヤリハット）を実施し、情報の共有に努めているか。	3.2	環境構成や玩具などに危険がないか日々気を付けた。ヒヤリハットが起こった際は、原因を把握し、同じことが起こらないよう職員間で共有している。
子育て支援			
	地域の子育て支援として、園庭開放など子育て支援活動を行っていることを理解しているか。	3.5	来てくれた子どもや保護者には一緒にあそんだり、声かけを積極的にできている職員が多い。
保護者・地域との連携			
	ルクミーで配信するおたよりは、園の理念や方針、子どもたちの育ちを伝える大切なツールであることを理解し、そのことを伝える内容になっているか。	3.8	子どもたちの育ちや素敵だと思った瞬間が伝わる写真を撮影できている。また、あそびの様子からどんな力が成長しているかが伝わるように言葉で説明できている。
	子育ての悩みや子どもの成長に共感した声掛けをしているか。	3.8	プラスの部分を意識して伝えられている。送迎の際に保護者から聞く子どもの情報をしっかりと受け止め、保護者の思いに寄り添った声掛けができるように意識できている。
運営管理			
	職務上、知り得た情報は外部に漏洩することのないよう取り扱いには十分配慮しているか。	4.2	情報や書類など、慎重に取り扱うようにしている。データはアプリなどで管理できるよう進めている。
	SNSなど、自分の個人情報が保護者の目に入ることを想定した取り扱いができているか。	4.3	個人のSNSは不特定多数の人に見られていることを職員に伝えている。
	勤務時間内に仕事を終わられるよう、優先順位や時間配分ができているか。	2.3	優先順位をたててはいるが、その日の業務に時間を費やすことが多い現状。ICTを幅広く活用することで時間を生み出す工夫をしている最中。

4. 今後取り組む自身の課題について

- 日々の中で、他の職員や園のために自分ができる仕事は何か…と考え、見つける。
- 保育はもちろんのこと、保育以外でも園のためにできることを増やす。
- 自己評価の中で一番低いレベルが勤務時間について。考え直していくべきところを振りかえり、評価が上がる努力をしていく。
同時に、他の職員についても時間内に仕事が終わられるよう声をかけていく。
- 子どもやクラスでの取り組みに対し、先生間で話し合い、こどもにとって何がいいのか、考えて余裕をもって進めていく。
- できるだけ定時退社を目指す。
- 提案の仕方や伝え方についてコミュニケーション力up！
- 限られた時間内で仕事を終わらせるようにするにはどうするかが課題。
- 一人ひとりに合わせた関りができるよう、子どもとの関わりを大切にし、向き合い、より深く知って保育していきたい。
- 自分のクラス運営に必死になるがあまり、他クラスの状況をしっかり把握できていなかった。自分のクラスも大事だが、周りの状況も把握して行動ができる視野を持つことが自分の課題。
- 保護者への対応や子どもへの対応を担当同士で情報交換をし、安心して園生活が送れるように丁寧に関わっていきたい。
- 子ども主体の保育ができているか、カリキュラムの組み立てを丁寧にみていく。また、各学年との話し合いの機会を積極的にもつ。
- 情報を発信することに苦手さがあるのでそれを強化していく。
- 園での取り組みのこと、子どもの育ちなどを保護者に積極的に伝えていく。
- 保護者の安心や悩みに寄り添っていく。